



# 環境かわら版

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo-c/0000007029.html>

令和2年 12月号 (第295号)



「2020 愛知県環境調査センター 一般公開デー」を開催します！  
(P5)



(昨年度の様子)  
もりの学舎 冬の特別イベントを実施します！ (P4)



「食品ロス削減イベント・ごみゼロ社会推進あいち県民大会」を開催しました (P7)



エコアクションを  
はじめよう！つづけよう！つなげよう！

<http://aichi-eco.com>



# 「あいち地球温暖化対策フォーラム」を開催します



愛知県では、「あいち地球温暖化防止戦略2030」及び「あいち自動車環境戦略2020」を推進するため、事業者及び県民の持続可能な社会の実現に向けた意識の向上、行動の変革を促す取組を進めています。

この度、新型コロナウイルス感染症によって影響を受けた社会や経済を持続可能な方法で復興しようとする「グリーン・リカバリー」をテーマとして講演やパネルディスカッションを行う「あいち地球温暖化対策フォーラム」をオンライン配信により開催します。それぞれの立場での行動変容について考える機会となりますので、是非ご参加ください。

## 1 開催日時

12月15日（火） 14:00～16:00

## 2 開催場所

【オンライン配信】

Web会議システムはZoomを使用します。

## 3 内容

### ○ 基調講演

「グリーン・リカバリーを巡る世界の動向と日本の課題」

【講師】

国連環境計画

金融イニシアティブ

特別顧問

すえよし たけじろう  
末吉 竹二郎 氏



末吉 竹二郎 さん

「本気でネットゼロに向かって  
いる企業や投資家」

【講師】

(一社)CDP Worldwide-Japan

シニアマネージャー

たかせ かえ  
高瀬 香絵 氏



高瀬 香絵 さん

### ○ パネルディスカッション

「持続可能な社会の実現に向けた行動変容」

【登壇者】

- ・基調講演講師 末吉 竹二郎 氏
- ・基調講演講師 高瀬 香絵 氏
- ・次の先進的事業者2名

コニカミノルタ(株)

グループ業務執行役員

サステナビリティ統括部長

たかはし たけのり  
高橋 壮摸 氏



高橋 壮摸 さん

戸田建設(株)

本社 価値創造推進室 副室長

(兼)イノベーション推進センター長

ひぐち しょういちろう  
樋口 正一郎 氏



樋口 正一郎 さん

【モデレーター】

- ・気象予報士、名古屋文化短期大学講師

はやかわ あつこ  
早川 敦子 氏

## 4 参加費

無料（通信料は自己負担となります。）

## 5 定員

300名（申込先着順）

## 6 参加申込み

下記Webページにある応募フォームからお申込みいただくか、参加申込書をダウンロードの上、Eメールにより、下記申込先あてにご送付ください。

- 締切：12月10日（木）まで
- Web ページ  
(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ondanka/forum2020.html>)



- 申込先：愛知県環境局地球温暖化対策課  
Eメール：[ondanka@pref.aichi.lg.jp](mailto:ondanka@pref.aichi.lg.jp)

※ お申込みいただいたメールアドレスに参加URLをお送りしますので、当日はURLからご参加ください。

地球温暖化対策課 調整・企画グループ  
電話 052-954-6213（ダイヤルイン）

## 第5次愛知県環境基本計画中間とりまとめについて ご意見を募集しています



愛知県では、県環境基本条例に基づき、環境保全に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、環境基本計画を策定しています。

2014年に策定した第4次愛知県環境基本計画から6年余りが経過し、その間の社会経済情勢の変化等に対応するため、現在、第5次計画の策定に向け検討しています。

この第5次計画中間とりまとめについて、県民意見提出制度（パブリック・コメント）に基づき、ご意見を募集しています。



### 1 意見募集期限

2021年1月4日（月）まで

### 2 第5次計画中間とりまとめの閲覧・入手方法

県のWebページ（<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo/kankyopublic.html>）から、資料と意見提出用紙を閲覧・入手できます。

また、環境政策課、県民相談・情報センター、各

県民相談室などで閲覧できます。

### 3 意見の提出方法

意見提出用紙により、お住まいの市町村名、性別、年齢、職業をご記入の上、郵送、FAX 又は E メールにより提出してください。

<提出先>

郵 送：〒460-8501（住所不要）

環境局環境政策部環境政策課

F A X：052-954-6914

Eメール：kankyo@pref.aichi.lg.jp

### 4 提出いただいたご意見への対応

- ・第5次愛知県環境基本計画策定の参考にします。
- ・いただいたご意見を取りまとめた概要等を県 Web ページに掲載する予定です。

（環境政策課 企画・広報グループ  
電話 052-954-6210（ダイヤルイン））

## あいち生物多様性戦略2030（案）について ご意見を募集しています



生物多様性基本法に基づき、生物多様性の保全と持続可能な利用に関する基本的な考え方や将来像、具体的な行動の指針などを定める「あいち生物多様性戦略2030～持続可能な社会づくりに向けて～」の案をとりまとめました。

この案について、県民意見提出制度（パブリック・コメント）に基づき、ご意見を募集しています。

### 1 意見募集期限

2021年1月4日（月）まで

### 2 戦略（案）の閲覧・入手方法

県のWebページ（<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/shizen/bd2030-ikenbosyu.html>）から、戦略（案）の全文と概要及び意見提出用紙を閲覧・入手できます。



また、自然環境課、県民相談・情報センター、各県民相談室などで閲覧できます。

### 3 意見の提出方法

意見提出用紙により、お住まいの市町村名、性別、年齢、職業をご記入の上、郵送、FAX 又は E メールにより提出してください。

<提出先>

郵 送：〒460-8501（住所不要）

環境局環境政策部自然環境課

F A X：052-963-3526

Eメール：shizen@pref.aichi.lg.jp

### 4 提出いただいたご意見への対応

- ・「あいち生物多様性戦略2030」策定の参考にします。
- ・いただいたご意見を取りまとめた概要等を県 Web ページに掲載する予定です。

（自然環境課 生物多様性保全グループ  
電話 052-954-6475（ダイヤルイン））



まなびや  
**もりの学舎 冬の特別イベントを実施します！**



環境学習施設「もりの学舎」では、冬の特別イベントとして、親子で参加できる工作教室を開催します。参加費は無料で、先着順で予約を受け付けています。多くの方のご参加をお待ちしています。

**1 ちびっこクラフト**

**(1)開催日時**

12月24日(木) 10:30~11:30 及び 13:30~14:30

**(2)対象、募集人数及び内容**

- ・幼児(3~6歳)と保護者、各回15名程度  
(保護者1名につき幼児2名まで)
- ・森で探した材料で、来年の干支である「うし」の干支かざりを作ります。

**2 おやこクラフト**

**(1)開催日時**

12月25日(金) 10:30~12:00 及び 13:30~15:00

**(2)対象、募集人数及び内容**

- ・小学生と保護者、各回15名程度  
(保護者1名につき小学生2名まで。小学生未達は同伴できません。)
- ・とんびの形をしたカイトを作ります。

**3 申込期間**

11月25日から定員に達するまで(先着順)

**4 開催場所及び申込・問合せ先**

もりの学舎(愛・地球博記念公園内)  
電話:0561-61-2315 FAX:0561-61-2328  
詳細はWebページをご覧ください。  
(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/r2winter-craft.html>)



〔環境活動推進課 環境学習グループ  
電話 052-954-6208 (ダイヤルイン)〕



**「冬休み環境学習講座」の参加者を募集します！**



あいち環境学習プラザでは、体験しながら環境について楽しく学ぶことができる「冬休み環境学習講座」を開催します。参加費は無料です。是非、ご参加ください。

**1 開催日**

12月26日(土)から12月28日(月)まで

**2 開催時間**

10:00~12:00 及び 13:30~15:30

※12月27日(日)は、10:30~11:30 及び  
13:00~14:00

※各日、2回開催します。

**3 開催場所**

あいち環境学習プラザ  
(名古屋市北区)

**4 講座内容**

右記Webページをご覧ください。



(過去の講座の様子)

いきものはかせになろうSP  
~朽ち木のいきもの編~

**5 対象及び定員**

- 小学生以上(小学生は保護者同伴)
- ※一部の講座は小学1~3年生  
定員 各回20名(保護者を含む。)
- ※一部の講座は各回15名(保護者を含む。)

**6 申込期限**

12月11日(金)まで(必着)

※申込み多数の場合は抽選

**7 申込・問合せ先**

あいち環境学習プラザ  
〒462-0032 名古屋市北区辻町字流7-6  
電話:052-908-5150 FAX:052-916-0516  
Eメール:kankyo-c@pref.aichi.lg.jp  
詳細はWebページをご覧ください。



(<http://kankyojoho.pref.aichi.jp/plaza/>)

〔環境調査センター 企画情報部  
あいち環境学習プラザ  
電話 052-908-5150 (ダイヤルイン)〕

## 「2020 愛知県環境調査センター 一般公開デー」 を開催します！



お子様から大人の方まで、より多くの皆さんに環境について一層関心を持っていただくために、本年4月に全面供用開始した県環境調査センターを一般公開します。参加費は無料です。新しくなった県環境調査センターへ是非、お越しください。

1 日時 12月19日(土) 10:00～15:30

2 場所 愛知県環境調査センター  
(名古屋市北区辻町字流7-6)

### 3 主な内容

#### (1) 施設見学

- ・環境分析現場(通常非公開)の見学
- ・あいち環境学習プラザでのタブレット学習とハンズオン展示の体験等

#### (2) 特別講演 10:05～11:05

「レッドデータブックから見るあいちの自然～レッドデータブックあいち2020の発行に寄せて～」

・愛知教育大学名誉教授 理学博士 芹沢 俊介 氏  
※要事前申込、申込先着順(定員50名)

(3) 特別講座 10:15～12:00 及び 13:45～15:30  
「酸性雨とわたしたち」(環境分析現場見学ツアー付き)

・アースせんせい  
(県環境調査センター 所長 柘植 孝之)

※当日先着順、各回定員5組10名程度

(4) 工作教室 12:00～ 材料が無くなり次第終了  
「もりの学舎による「あそび工房 きのみクラフト」」  
・どんぐりストラップをつくろう！  
・ミニクリスマスリースをつくろう！

### 4 その他

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo-c/2020kankyo-c-koukai.html>)



〔環境調査センター 企画情報部  
電話 052-908-5150 (ダイヤルイン)〕

## 「あいちの未来クリエイト部」 調査研究発表会を開催します！



愛知県では、高校生が専門家等の支援を受けながら地域の環境問題について調査・研究し、その結果を基に環境学習教材を作成する「あいちの未来クリエイト部」の活動を2017年度から行っています。

この度、今年度の「あいちの未来クリエイト部」のこれまでの活動について発表する調査研究発表会を開催します。是非、お越しください。

1 日時 12月19日(土) 13:00～13:45

2 発表者・テーマ 表のとおり

3 会場 愛知県環境調査センター 第1会議室  
(名古屋市北区辻町字流7-6)

### 4 定員等

定員40名(事前申込不要・当日先着順)、無料

### 5 その他

本発表会は「2020 愛知県環境調査センター 一般公開デー」と同時開催します。

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo-katsudo/mirai-create-presentation.html>)



発表者	テーマ
愛知県立 愛知商業高等学校 ユネスコクラブ	ミツバチがつなぐ持続可能な未来の輪 ～地域でつくる全ての生物が共生したまちづくりへ～
愛知県立 佐屋高等学校 科学部	スクミリンゴガイの駆除と水田に生きる生物相
愛知県立 豊田高等学校 科学部	豊田市籠川、伊保川における魚類の変化

〔環境活動推進課 環境学習グループ  
電話 052-954-6208 (ダイヤルイン)〕

## 「産業廃棄物適正処理推進セミナー」を開催します



愛知県では、産業廃棄物の適正処理を推進するため、排出事業者が果たすべき役割を徹底するとともに、処理業者の優良化を促進することを目的とした排出事業者及び処理業者向けの「産業廃棄物適正処理推進セミナー」を開催します。

### 1 日時・場所

<尾張会場>

2020年12月18日(金) 14:00~16:00

ウインクあいち 大ホール

(名古屋市市中村区名駅4丁目4-38)

<三河会場>

2021年2月24日(水) 14:00~16:00

愛知県西三河総合庁舎 10階 大会議室

(岡崎市明大寺本町1-4)

2 定員 尾張会場：200名 三河会場：78名

(いずれも申込先着順)

3 参加費 無料

4 主な講演内容

「廃プラスチック類輸出に係るバーゼル法の改正について」

・環境省中部地方環境事務所 <sup>あかつかやすし</sup> 赤塚康司 氏

「優良産廃処理業者認定制度の紹介」

・(一社)愛知県産業廃棄物協会 <sup>ほりべたかし</sup> 堀部隆司 氏

「排出事業者と処理業者の協力で乗り越えるウィズコロナ時代の産業廃棄物管理」

・イーバリュー(株) <sup>さとうたけし</sup> 佐藤健 氏

5 申込方法

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/junkan-kansi/tekisei-seminar.html>)



資源循環推進課 産業廃棄物グループ  
廃棄物監視指導室 指導グループ  
電話 052-954-6235・6237 (ダイヤルイン)



## 「三河湾環境再生パートナーシップ・クラブ」のサポーターズカードを作成しました



愛知県では、県民、NPO、企業・関係団体、教育機関等が連携・協働し、三河湾に関心を持っていただき、県民の里海である三河湾を再生し次の世代に贈ることを目的とする「三河湾環境再生パートナーシップ・クラブ」を2015年に設立しました。



シンボルマーク

この度、このクラブに賛同する個人のサポーター(10月末現在約2,100名)を増やし、三河湾関連イベントへの参加を促進するため、昨年度に引き続き、集めて楽しめるコレクションカードとして、サポーターズカードを作成しました。今回のカードの題材は、三河湾の豊かさを守る干潟等に生息するエビ、カニを中心とした10種です。それぞれの生きものについての豆知識を掲載し、10種類のカードをそろえると分かる仕掛けもあります。

カードは、12月20日(日)のサポーター講座を

皮切りに、県主催のイベント等で配布する予定です。是非たくさんさんのイベントに参加し、カードを集めてください。

イベント当日の入会も可能です。皆さんも是非サポーターとなって、一緒に里海である三河湾を再生しましょう。

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/club-supporterscard.html>)



水大気環境課生活環境地盤対策室 三河湾環境再生グループ  
電話 052-954-6220 (ダイヤルイン)



サポーターズカード  
(クルマエビ)

# 「食品ロス削減イベント・ごみゼロ社会推進 あいち県民大会」を開催しました



食品ロス（まだ食べられるにもかかわらず捨てられてしまう食品）の問題を県民や食品関連事業者の皆さんに知ってもらい、考えていただくため、「食品ロス削減イベント」を11月5日に名古屋市東区のオアシス21で開催しました。また、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の普及を進めるため、ごみゼロ社会推進あいち県民会議\*主催の「ごみゼロ社会推進あいち県民大会」を同時開催し、延べ約400名の方にご参加いただきました。来場者の検温や消毒など、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上での開催となりました。

\*事業者団体、消費者団体、県内市町村等 112 団体で構成

## ☆食品ロス削減イベント☆

「食品ロス削減イベント」では、講演やトークショー、ブース出展などを行いました。

ステージでは、NPO 法人セカンドハーベスト名古屋の山内大輔<sup>やまうちだいすけ</sup>理事長に、フードバンクの重要性や食品ロスの現状などについてご講演いただいたほか、芸人の「家事えもん」こと松橋周太呂<sup>まつはししゅうたろ</sup>さんによる「食品ロスは損してる！家事えもんの食品使い切りレシピ」と題したトークショーでは、調理の時に食品ロスを減らすコツや、余りがちな食材を使い切るための料理レシピなどを紹介していただきました。

午後には、サステイナブルフードチェーン協議会の参画企業・団体が「食品事業者のSDGs パートナリシップで食品ロスを削減しよう！」と題したディスカッションを行い、食品ロス削減のために取り組んでいることや感じていることなどについて意見を交わしていただきました。

このほか、会場内の各ブースでは、ゲームや動画で食品ロスについて学ぶプログラムや企業・団体の食品ロ



ゲームで食品ロスについて学ぶ様子

ス削減の取組の紹介、家庭などで余った食品を持ち寄るフードドライブ、飲食店などで食べ残した食品を持ち帰るためのドギーバッグの普及啓発、エコバッグがもらえるスタンプラリーなどが行われました。フードドライブでは、108点 計42kgの食品が寄付されました。

## ☆ごみゼロ社会推進あいち県民大会☆

「ごみゼロ社会推進あいち県民大会」は、地元アイドルの名古屋CLEAR'S<sup>クリアーズ</sup>とRe☆Sta<sup>リスタ</sup>のミニライブから始まり、プラごみ削減啓発ソングなどを披露しました。その後、ごみゼロ社会推進あいち県民会議会長の<sup>あさおみわ</sup>大村知事から「このイベントを機に、皆様とともに、プラスチックごみや食品ロスの削減について考え、行動につなげていく機会としていきたい」と挨拶がありました。続いて、「レジ袋削減取組店」に登録いただいている県内の238店舗のうち、レジ袋削減に顕著な実績を収めた3店舗に対し大村知事から表彰状が授与されました。

次に、元ビーチバレーボール選手の浅尾美和さんによる「世界の砂浜の美しさとひとびとのエコ意識」と題したトークショーが行われ、試合などで海外を訪れた際に感じた文化や意識の違い、ごみの削減のために普段の生活で気を付けていることなどを話していただきました。

また、会場内の「ごみゼロ社会推進あいち県民会議ブース」では、イベントに来場された方に、プラスチックごみを削減するための取組を「宣言」していただきました。



大村知事による「取組宣言」

〔 資源循環推進課 一般廃棄物グループ  
電話 052-954-6234 (ダイヤルイン) 〕

## 「夏休み！おうちでエコアップ大作戦」の結果発表



愛知県では、地球温暖化防止に向けた「賢い選択（クールチョイス）（COOL CHOICE）」を促す「あいち COOL CHOICE」県民運動を推進しています。

その取組の一つとして、今年度から、夏休みを利用して、小学生とその家族が家庭で地球温暖化防止に向けたエコアップ行動に1週間取り組んでいただく「夏休み！おうちでエコアップ大作戦」を開始しました。

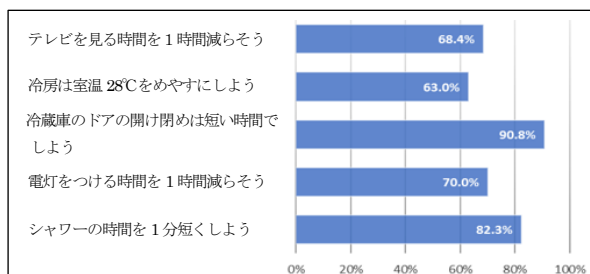
■参加数：2,867 家族

■参加小学校数：49 校

■CO<sub>2</sub>削減量：6,141kg-CO<sub>2</sub>※

■エコアップ行動取組結果

※2,867 家族が1週間で減らした合計量の推計で、スギ439本が1年で吸収するCO<sub>2</sub>量に相当。



取組に参加した小学生からは、「テレビやゲームを減らすのが難しかったけど、意外と楽しかった」など、楽しみながら取り組めたという感想が多くありました。また、一緒に取り組んでいただいたご家族からも、「環境に配慮した生活について家族で話し合ったり、考える良いきっかけになった」といった声をいただきました。

■優秀校

学校単位で参加いただき、児童の参加率の高かった小学校を、学校の規模(児童総数)別に優秀校として表彰します。

〔中金小学校(豊田市)、内山小学校(名古屋市)、千秋東小学校

(一宮市)、童浦小学校(田原市)、西枇杷島小学校(清須市)〕

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ondanka/ecoup2020.html>)



〔地球温暖化対策課 調整・企画グループ〕

電話 052-954-6213 (ダイヤルイン)

## 「災害廃棄物処理図上演習」を実施しました



大規模災害が生じた際に発生する大量の廃棄物は、生活環境を悪化させるだけでなく、復旧・復興の大幅な遅れへとつながるおそれがあります。2016年10月に策定した「愛知県災害廃棄物処理計画」では、愛知県、市町村及び民間事業者団体等が連携・協力して、災害廃棄物の適正かつ迅速な処理を行うこととしています。

このため、県では、県(環境局、防災安全局、県民事務所等)、市町村、一部事務組合、環境省中部地方環境事務所及び民間事業者団体(愛知県衛生事業協同組合、(一社)愛知県産業廃棄物協会、(一社)愛知県環境測定分析協会、(一社)愛知県建設業協会、(一社)愛知県解体工事業協会、(一社)日本建設業連合会中部支部)から延べ約130名の参加のもと、災害廃棄物処理図上演習を、10月22日、23日に愛知県自治センターで実施しました。

図上演習では、グループに分かれた参加者が、記録的な大雨発生後2日目から5日目までの4日間の想定で、被災都市の廃棄物部局職員として、時間経過に応じた災害廃棄物処理に係る様々な課題への対応を模擬的に実践・確認しました。参加者には、住民からの要望などに対して一定時間内での判断を求め、災害時の切迫感を疑似体験してもらいました。

演習を通じて、業務手順や連携体制を確認することができ、災害時の対応力の向上につながるものとなりました。



図上演習の様子

〔資源循環推進課 一般廃棄物グループ〕

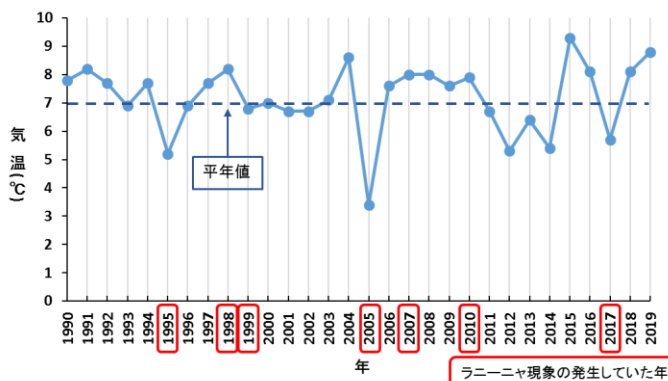
電話 052-954-6234 (ダイヤルイン)



## 1 12月の気候の変化

名古屋地方気象台の発表によると、今年の12月の気温は平年並みの予想となっています。

今年は夏からラニーニャ現象が発生しているとみられ、冬にかけて同現象が続く可能性が高くなっています。過去30年間でラニーニャ現象が発生した冬（以下、「ラニーニャ年の冬」という。）は、7回ありました。中でも2005年は気温がかなり低く、名古屋でも12月に大雪になった日がありました。ラニーニャ年の冬は、必ずしも気温が平年より低くなるわけではありませんが、2005年のような事例もあるため、今年の冬は寒さが厳しくなる可能性があります。

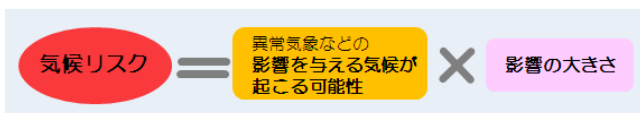


名古屋の12月の平均気温とラニーニャ年の冬 (1990~2019年) (気象台のデータを基に作成)

## 2 気候リスクの管理 (適応策)

気候は生活や産業に様々な影響を与えます。昨年は記録的な暖冬により、気温が低いほど売れやすい商品の売上げが落ちる傾向となりました。中でも顕著だったものは、使い捨てカイロやホット飲料、鍋具材でした。

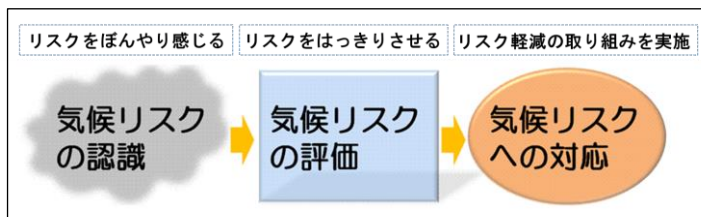
気象庁によると、このように気候によって影響を受ける可能性のことを「気候リスク」といいます。気候リスクは「異常気象などの影響を与える気候が起こる可能性」と「その影響の大きさ」の掛け算で考えるとイメージしやすいです。



気候リスクの考え方 (気象庁 Web ページの図を一部加工)

また、近年は地球温暖化等の影響により、過去に比べて異常気象などが発生する可能性が高まっていることから、気候リスクは増大しているといえます。

こうした気候リスクを軽減するため、気象情報などを用いて気候リスクを把握し、対応することを「気候リスク管理」といいます。気候リスク管理には、認識・評価・対応の3つのプロセスがあり、まずは身の回りの気候リスクを認識することが大切です。



気候リスク管理のプロセス (気象庁 Web ページの図を一部加工)

気象庁の Web ページでは、過去の気象データや向こう2週間・1か月の予測資料、気候リスク管理の実例などを公開しています。これらの情報を積極的に活用して気候リスクを軽減しましょう。

(<https://www.data.jma.go.jp/gmd/risk/index.html>)



## 3 市町村向け啓発セミナーを開催しました

11月4日、気候変動適応への理解と取組を促進するため、地球温暖化対策を担当する市町村職員を対象にセミナーを開催しました。名古屋地方気象台防災調査官の原 浩司さんをお招きし、地球温暖化の現状と予測、防災気象情報の活用などについてご講演いただきました。講演資料は、県気候変動適応センターの Web ページで公開しています。是非ご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo-c/tekiou.html>)



環境調査センター 企画情報部  
気候変動適応センター  
電話 052-910-5489 (ダイヤルイン)

「あいち・なごや生物多様性ベストプラクティス」の受賞事例について、前号に引き続き、企業の取組を紹介します。

**(株)三五**

企業の基本理念に「環境づくり」を掲げ、35万本の植樹を目指した森づくりを国内外の工場を中心に展開しています。名古屋市熱田区にあった工場跡地を土壌汚染の浄化を経て自然共生の拠点とし、森づくりや調整池を活用したビオトープの創出を行いました。

また、近隣の小学生を招いた環境学習会や地元住民、行政などと協働した特定外来生物のオオキンケイギク



工場跡地を利用したビオトープ

**ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ(株)幸田サイト**

隣接する森を「ソニーの森」と名づけ、地域とともに活動しています。2008年から開始したフクロウの棲む森づくり活動では、毎月、社員ボランティアで森づくりを行い、2016年にはフクロウのヒナが誕生しました。2011年からは在来種の苗木づくりを開始しました。ドングリを拾って発芽させ、近隣の子供たちに苗木を渡し、1年かけて育てるという里親制度により、植林後も愛着を持ってもらい、継続的に里山づくりを行っています。



里山学習

**トヨタ車体(株)**

刈谷北部の生態系ネットワーク形成の拠点づくりを目指し、雑木林、鎮守の森、果樹園、田畑等を兼ね備えたビオトープ「ふれ愛パーク」を2014年にオープンしました。「場づくり」として、ビオトープの成長段階ごとに地域から呼び込む生きものの目標を定め、計画的に管理を行っています。

また、「人づくり」では、従業員や子供たちへの環境教育を行い、「組織づくり」では、地域連絡会を発足し、地域に愛されるふれ愛パークを目指して活動しています。



ビオトープの生物観察

**(株)山田組**

東谷山麓にある「天空のアグリパーク」において、生物多様性を重視した環境保全型農業を実践しつつ、都市農業とふれあえる場を創出しています。

化学肥料等の使用を削減し、物理的、生物的な防除対策を組み合わせる IPM (総合防除) の手法により、果樹を中心とした農産物の生産を行っています。

また、コーヒー粕を利用した有機肥料の開発研究や住民向けの自然環境を守るための行動を考えるイベント、障害者の就労体験の受入、都市住民への自然体験の機会提供などに取り組んでいます。



就労体験

〔自然環境課 生物多様性保全グループ  
電話 052-954-6475 (ダイヤルイン)〕

※ 掲載の研修会やイベントは、新型コロナウイルス感染症などにより、内容の変更又は中止する場合があります。

愛知県環境情報紙「環境かわら版」  
令和2年12月7日発行(第295号)  
編集・発行 愛知県環境調査センター  
企画情報部  
〒462-0032 名古屋市北区辻町字流 7-6  
電話 052-908-5112(ダイヤルイン)

**編集後記**

12月は、「大気汚染防止推進月間」であり、1998年からはCOP3京都会議を契機に環境省が「地球温暖化防止月間」と定め、様々な取組が実施されてきました。

先般の首相所信表明演説で「2050年に温室ガスの排出を全体としてゼロにすることを目指す」と脱炭素社会の実現に向け具体的な時期を示したことで、今後更なる取組の強化が必要となります。(企画・編集チーム)

※ この環境かわら版は、環境局 Web ページ「あいちの環境」<https://www.pref.aichi.jp/kankyo/>でも発信しており、今月号及びバックナンバーをカラーでご覧いただけます。ページは右の QR コードからアクセスできます。

※ QR コードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

掲載記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いいたします。

